

第2回筑紫野市都市計画マスタープラン策定会議の結果について

会議内容は、次のとおりです。

開催日時	平成27年6月9日（火） 10:00～12:00
開催場所	筑紫野市歴史博物館2階 研修室
出席委員数	12名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員・事務局紹介 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 現行都市計画マスタープラン進捗検証について（報告） (2) 第二次筑紫野市都市計画マスタープラン策定状況について（報告） (3) 第二次筑紫野市都市計画マスタープラン全体構想について 4. 事務連絡 5. 閉会
会議概要	<p>委員から出された質問・意見は次のとおりです。</p> <p>【現行都市計画マスタープラン進捗検証について（報告）】</p> <p>【第二次筑紫野市都市計画マスタープラン策定状況について（報告）】</p> <p>○地域別懇談会は1度だけではなく、何度か開催してほしい。 ⇒地域別懇談会開催後に全住民を対象としたインターネット等による意見募集を行った。</p> <p>○山家の産廃の集積場について、マスタープランでの位置づけはどうなっているか。 ⇒環境問題として地元からも相談があがっているが、都市計画マスタープランにどういう形で載せることができるか検討している。</p> <p>【第二次筑紫野市都市計画マスタープラン全体構想について】</p> <p>○地域コミュニティ構想によって、5地区から7地区でまちづくりが行われているが、なぜ5地区から7地区にしたかをマスタープランに位置づけて欲しい。</p> <p>○少子高齢化の中で高齢者対策は進んでいるが、一方で、若い世代を引きこむようなまちづくりが必要である。そのため、子育てや福祉の環境を整え、若者が住みたくなるまちづくりをして欲しい。</p> <p>○佐賀の嬉野はバリアフリーのまちづくりを推進しているが、バリアフリーのまちづくりを検討してほしい。</p>

<p>会議概要</p>	<p>○路線バスの乗降客数のグラフの数値が減り過ぎであると感じる。市の補助路線なども含めたデータで算出できるか検討していただきたい。</p> <p>○この乗降客数の数値は福祉バスの利用者も含んでいるのか？ ⇒統計書のデータの中身を確認し、福祉バス利用者が含まれているか確認する。</p> <p>○公共機関のバスが減ったことで、福祉バスやコミュニティバスの要望が上がってきているのでデータとしてあったほうがいいのではと感じている。</p> <p>○農家数は減っているのは確かだが、耕作地の面積は減少しているのか確認して欲しい。 ⇒確認する。</p> <p>○空き家が全国的に増えてきている中で、筑紫野市は現状の空き家数の把握をしているか。20年後には空き家の倍増も考えられるがどう対処していくのか。 ⇒現状では、空き家数の把握はできていない。今年、建築課が新設され、今後、対応について検討する。</p> <p>○市役所をはじめとしたいくつかの公共施設の老朽化は防災の面から見ても危険。公共施設の老朽化対策を考えてもらいたい。</p> <p>○林業が自然環境にとって重要であるということを記載して欲しい。 人工林であり、手入れしないと災害が起こりやすくなる。</p> <p>○市庁舎について現在までの検討状況を踏まえて、課題を掘り下げてして掲載してもらいたい。</p> <p>○中心市街地の活性化は、過去に行った中心市街地の活性化の経緯を踏まえなければ、また同じことしているのかと捉えられかねない。</p> <p>○二日市温泉の二十年後は建物の老朽化や後継者不足の問題がある。相互的な助けがないと地域だけでは、なかなか立ち上がれない。</p> <p>○二日市温泉を中心に地域活性化をしていくのではなく、JR 二日市駅や西鉄紫駅、天拝山を繋ぐ観光的なルートを使って活性化していくべき。二日市温泉だけを捉えるのではなく、広い捉え方をしていただきたい。</p>
-------------	---

会議概要

○温泉の力を借りながら、歩いてみたい町並み、住んでみたい町並みと思ってもらえるような町並みを形成していくべき。後継者不足というのが一番の問題である。

○都市計画に関する市民アンケートは年齢や性別などどういった方を対象とした内容となっているか。

⇒アンケートは、平成25年度に各地域の人口に応じた人数を対象として18歳以上の市民3,000人を無作為に選定し、アンケートを実施した。

○地域の活性化という視点で福岡市はアジアという観点で動いている。

福岡市周辺で温泉施設のある宿泊施設は筑紫野市二日市温泉だけである。

福岡市の国際交流課と密に連携をとって欲しい。

○福岡市周辺で宿泊施設が足りないことがマスコミでも取り上げられている。

マスタープランの中で計画を立ち上げ、それに携わっていく皆様と、計画目標に向けて20、30年かけて目標に近づけていくのが課題である。

○筑紫野市は市内の人口は増えているものの、就労数が増えていないため、後継者づくりをどうするのかを考えて欲しい。

○災害について、山林での土砂災害の表現を盛り込んでもらえないか。

⇒検討する。

○全体を通して課題から目標に繋がっているかをもう一度検討していただきたい。

議事終了。